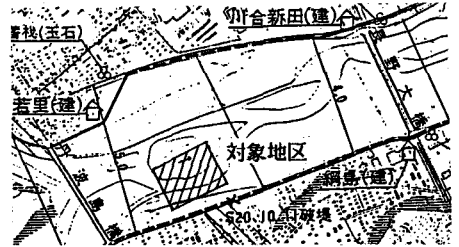


丹波島橋－長野大橋間の河川景観設計の試み

信州大学工学部 正 員 寒川 典昭
 信州大学工学部 学生員 ○小牧 健二
 信州大学工学部 正 員 山下伊千造

1. はじめに

河川景観設計を行うにあたり、その河川付近の住民の意見を聞きながら設計を進めていくことが重要である。¹⁾ 本稿はその準備段階として学生を対象としたアンケート調査を行い、犀川（丹波島橋－長野大橋間）（図－1）の現状と望まれている河川景観を把握し、将来の犀川の在り方について考察するための一つの目安を提供したものである。



図－1 犀川（丹波島橋－長野大橋間）と対象地区

2. アンケート及び調査方法

犀川（丹波島橋－長野大橋間）の利用状況、現状に対するイメージ、並びに将来への希望などについて把握するための調査用冊子（質問項目は表1～6、図2）を用い、また対象地区（図－1の斜線部）を選定してそこを景観的に変えるとしたらどのような水辺空間を望むかについて10枚の写真をモデルとして挙げ、一対比較により選定してもらうというアンケートを実施した。調査対象は、信州大学（教育・工学部）の学生（男女各20名）である。年齢構成は表－1に示す。また、調査方法は少人数のグループに分けて面接形式で行った。特に、写真の一対比較についてはよく見える所で選定してもらう必要があったからである。

表－1 年齢構成

19 歳	2 人 (男 0, 女 2)
20 歳	12 人 (男 3, 女 9)
21 歳	12 人 (男 8, 女 4)
22 歳	9 人 (男 6, 女 3)
23 歳	5 人 (男 3, 女 2)

表－2 利用状況

1 位	何もしない	32%
2 位	野球、ソフトボール	25%
3 位	散歩	16%
4 位	花火見物	13%
5 位	サイクリング	9%
6 位	サッカー	2%
"	ゴルフ	2%
"	釣り	2%
対象期間	過去一年間	

3. 分析方法

調査用冊子を用いたアンケートについては、各々の質問に対して集計されたデータをグラフ化した。一対比較によるアンケートの分析には、AHP手法²⁾を用いた。このとき写真の順位付けは個人が付けた魅力度の高い方から順に、10点、9点、・・・、1点というように点数を与えて、上位から並べた。

表－3 犀川からの距離

1 位	2km～5km	11人 (男 3, 女 8)
2 位	1km～2km	9人 (男 7, 女 2)
3 位	～500m	8人 (男 6, 女 2)
"	5km～	8人 (男 2, 女 6)
5 位	500m～1km	4人 (男 2, 女 2)

4. 分析結果及び考察

「利用状況」（表－2）については、対象期間が過去一年間であるが「何もしない」と解答されたものが3分の1に及ぶため、普段殆ど利用されていないと考えられる。これは、「犀川からの距離」（表－3）でみると1km以上離れている人が70%を占めているため、活動範囲内に無いことが一因となっているだろう。また、このことは「交通手段」（表－4）で徒歩の順位が低いことから推察される。

表－4 交通手段

1 位	自動車	38%
2 位	自転車	28%
3 位	バイク	17%
4 位	徒歩	13%
5 位	バス	4%

次に、「犀川でしてみたい活動」（表－5）については「蛍見物」、「花火」といった季節感のあるものが選ばれがちのように思われる。船遊びは、特に男性に支持されたが、女性にもまずまずの人氣があった。

「犀川のイメージ」（図－2）については、いずれの対の言葉についても特に高い平均値を示していない

が、全体的にみればわずかながらプラスイメージが持たれている。³⁾ しかし今回の対象者は”どちらでもない”を選択する場合が多かったので、犀川への関心度が低いと思われる。

次に、「河川敷に欲しいもの」(表-6)については、「犀川でしてみたい活動」(表-5)に反映されているようである。この表に挙げられた項目は、どれが最も欲しいということではなく複合して望まれていると思われる。その他で興味深いのは「駐車場」という意見である。最近の駐車料金の高さからか、利用できる土地は有効に、という考えの現れであろうが、これも景観的に優れた施設であれば取り入れても問題ないと思われるので今後の景観設計に、前向きに対処していきたい。

「一対比較の写真モデル順位」(表-7)については、J, B, Dが上位三位を占めているが、これらは比較的明るい緑が多いも

表-5 犀川でしてみたい活動

1位	虫見物	24%
2位	花見	21%
3位	船遊び	19%
4位	写生、写真撮影	9%
5位	水泳、水遊び	8%
6位	植物採集	2%
7位	ハートウッチング	1%
	その他	15%

○ その他で挙げられたもの

- ・花火
- ・馬に乗りたい
- ・キャンプ
- ・バーベキュー
- ・星を眺める

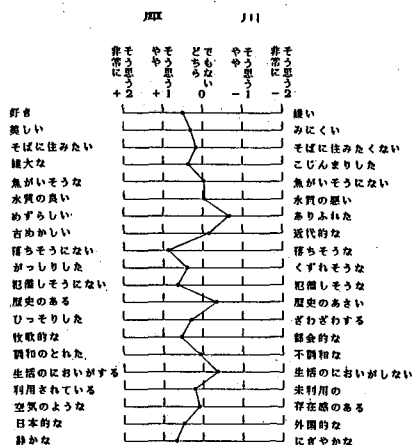


図-2 犀川のイメージ

のだった。

また、続く

E, G, I

といった写

真も花の赤

い色や緑の

芝生などで

構成されたものであり、いずれも色彩的に鮮明な写真である。残りの4枚は景観のみならず、色が淡かったり暗かったりしたことも原因となって魅力的でなかったのかも知れない。

5. おわりに

今回の調査は、犀川を魅力的な河川空間にしていくための予備的な調査であり、対象者もかなり限定したものであった。また、調査方法及び、調査用冊子の内容(選択肢に入れる活動、適切な言葉の適用など)について、かなり改善すべき点があった。したがって、今回の結果を即座に望ましい河川景観と考えるのは早計であろうが、一つの試みとして今後の河川景観に生かしていきたいと考えている。

最後に、長時間にわたり忍耐強くアンケートに協力して下さった信州大学の学生の方々に篤く謝意を表します。

参考文献:

- 1) 土木学会編: 水辺の景観設計, 技報堂出版, pp.188~194, 1988.
- 2) 刀根 薫: ゲーム感覚意志決定法-AHP入門-, 日科技連出版社, pp.1~46, 1986.
- 3) 松浦茂樹, 島谷幸宏: 水辺空間の魅力と創造, 鹿島出版会, pp.114~145, 1987.

表-6 河川敷に欲しいもの

1位	桜の木を植えて、花見ができるような場所	21%
2位	遊歩道	18%
3位	キャンプ場(バーベキューなどできる場所)	16%
4位	四阿(あずまや)やベンチのある休憩所	16%
5位	花畑(葉の花のあるような)	13%
6位	向こう岸や砂州に渡れるような橋	9%
	その他	7%

○ その他で挙げられたもの

- ・駐車場, サイクリングコース
- ・アスレチック場
- ・芝生(ごろごろできるような)
- ・ただで釣りができる場所
- ・ア-リ-場
- ・弓道場(遠的)

表-7 一対比較の写真モデル順位

順位	写真	得点	平均得点
1位	J.	341.0	8.5250
2位	B.	300.5	7.5125
3位	D.	249.0	6.2250
4位	E.	233.5	5.8375
5位	G.	233.0	5.8250
6位	I.	225.0	5.6250
7位	H.	224.0	5.6000
8位	F.	158.5	3.9625
9位	A.	126.0	3.1500
10位	C.	109.5	2.7375